

MORE CONTENT for MORE PEOPLE!

ひとつでも多くのコンテンツを、ひとりでも多くの人へ

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 2Q決算説明資料

証券コード : 3678



1	決算ハイライト	P.5
2	業績推移	P.9
	1. 連結業績	
	2. 電子書籍流通事業	
	3. 戦略投資事業	
3	成長戦略	P.27

決算説明資料のほか、以下の情報もご参照ください

統合報告書2025

(2025年2月期)

開示日：2025年8月29日

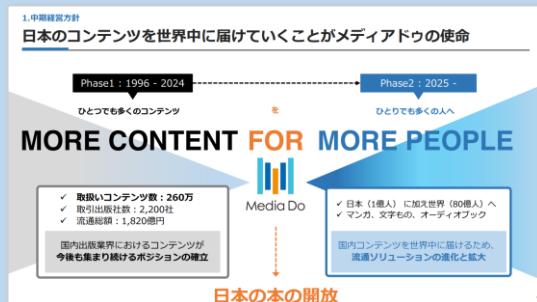


<https://mediado.jp/ir/library/annualreport/>

中期経営計画

(5カ年／2026 - 2030年2月期)

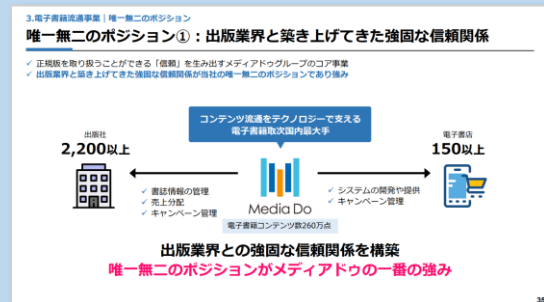
開示日：2025年4月14日



<https://mediado.jp/ir/library/midplan/>

新規投資家向け資料

最終更新日：2025年10月15日



https://ssl4.eir-parts.net/doc/3678/ir_material2/216857/00.pdf



すべて当社ホームページ（IR情報）よりアクセスいただけます

<https://mediado.jp/ir>

2Q累計ハイライト

増収増益となり、
通期着地に向けて想定通り進捗

売上高 **538億円** (進捗率50.8%)

EBITDA **19.9億円** (進捗率50.7%)

営業利益 **13.9億円** (進捗率51.5%)

親会社株主に
帰属する当期純利益 **13.2億円** (進捗率66.3%)

(進捗率：期初予想に対する進捗率)

2Qトピックス

- **電子書籍流通事業は、順調に売上成長**
2Q累計で6.6%の成長
2025年7月より新規商流（めちゃコミック）との取引を開始
- **戦略投資事業は、順調に損益改善が進捗**
2Q累計で410百万円の改善
主に日本文芸社の業績改善に向けた取組みが進捗
- **海外戦略（日本コンテンツの海外展開）**
日本のコンテンツを海外読者へ届けるまでの一気通貫での支援を目指し、まずは米国展開に向けた流通インフラ確保に注力
- **SC事業（Sustainability Creation）**
「SC事業 1DAYカンファレンス」の開催、および当社CEO藤田のB.LEAGUE理事就任により、地域社会との信頼関係の深化と事業推進に向けた取組みが進捗

01

決算ハイライト

Financial Highlights

連結業績ハイライト

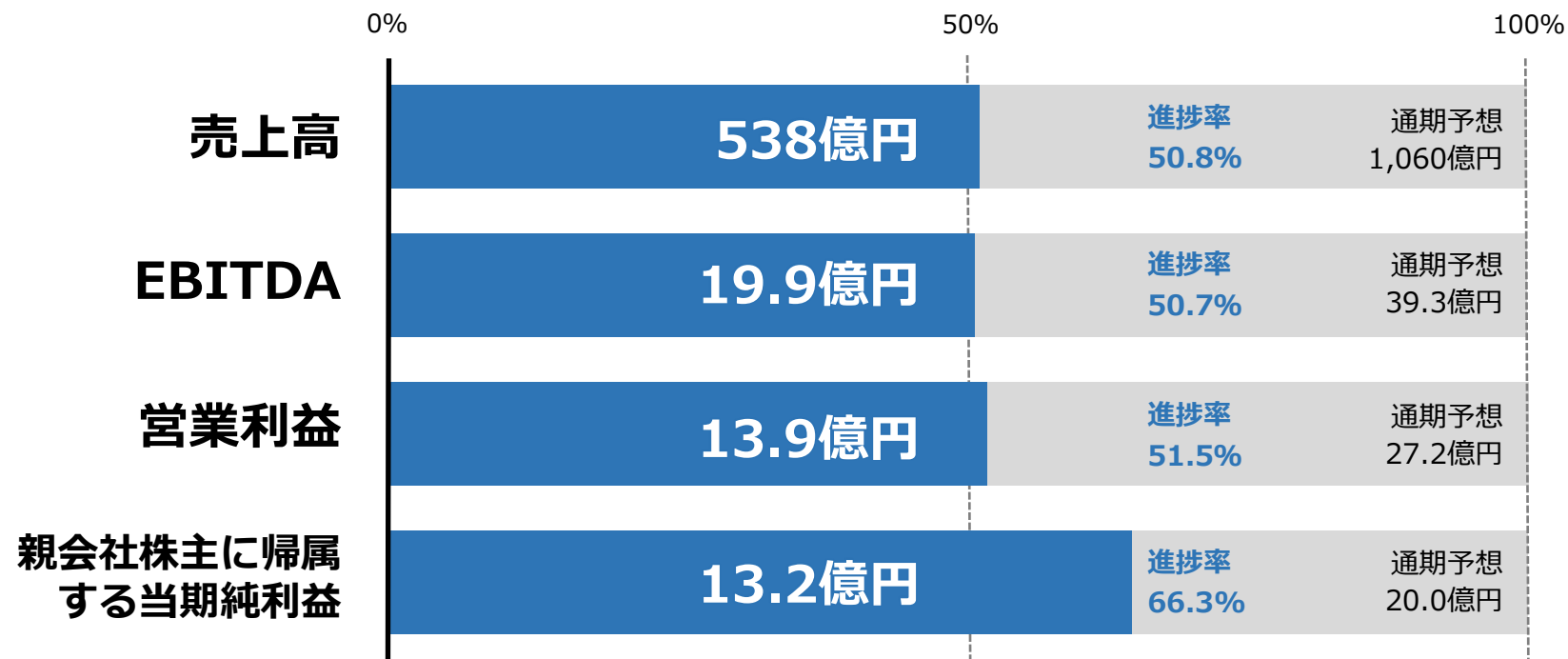
- ✓ 売上高 ----- 電子書籍流通事業の既存商流が引き続き堅調、加えて7月より新規商流（めちゃコミック）も寄与
- ✓ EBITDA・営業利益 ----- 1Qに引き続き、日本文芸社の業績向上ならびにのれん償却費減少に伴い、戦略投資事業の利益改善が貢献
- ✓ 当期純利益 ----- 2025年3月のMyAnimeList(MAL)売却益計上により前年同期比で増加

	25/2期 2Q累計	26/2期 2Q累計	前年同期比
売上高	510億円	538億円	+5.5% (+28.0億円)
EBITDA	17.4億円	19.9億円	+14.1% (+2.5億円)
営業利益	10.9億円	13.9億円	+27.7% (+3.0億円)
親会社株主に帰属する当期純利益	5.2億円	13.2億円	+154.6% (+8.0億円) MAL売却益 (+531百万円) による影響

通期業績進捗率

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 売上利益指標すべての項目で通期予想に対する進捗率は50%を上回り着地
- ✓ 当期純利益においては1QでのMyAnimeList売却益計上により高い進捗率となった（期初計画に織り込み済）



セグメント別売上高

報告セグメント※1						
単位：百万円	電子書籍流通事業	戦略投資事業		25/2期 2Q累計	26/2期 2Q累計	前年同期比
		メディアドゥ	子会社			
提供サービスの種類 ※1	取次	電子書籍取次事業		46,537	49,743	+ 6.9% (+3,206)
	書籍・雑誌出版		日本文芸社	978※2	1,004※2	+ 2.7% (+26)
	Webサービス運営	まんがセゾン	オーディオブック FanTop 電子図書館	1,866	1,368	-26.7% (-498)
	出版業界向け ソリューション		Firebrand NetGalley Supadü	1,437	1,407	-2.1% (-30)
	その他		MD-i※3 アルトラ※3 がんばろう徳島	237	339	+ 43.1% (+102)
	合計			51,057	53,864	+ 5.5% (+2,807)

※1 報告セグメント・提供サービスの種類の内訳に記載の事業については、その分類に該当する代表的な事業を抜粋して掲載

※2 電子書籍の売上等を除外した紙媒体での売上を主体とした数値

※3 MD-i=Media Do International、アルトラ=アルトラエンタテインメントの略

02

業績推移

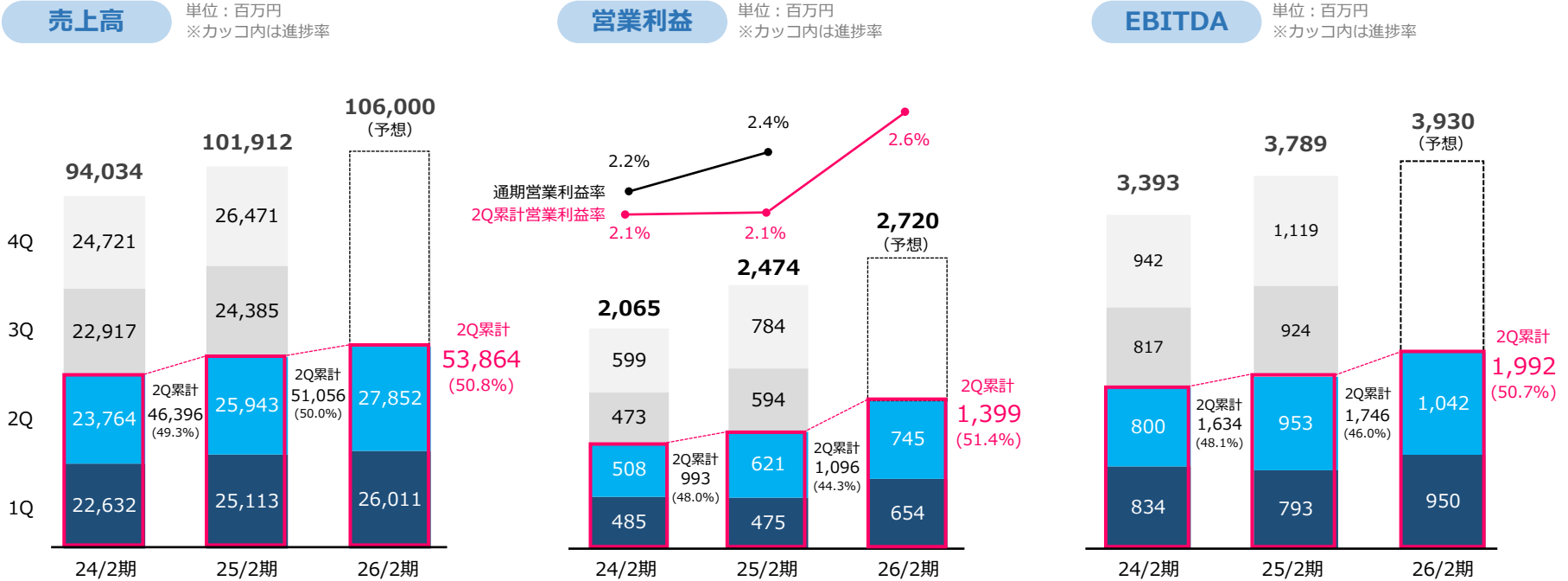
Earnings Trends

2.業績推移

連結業績

概況

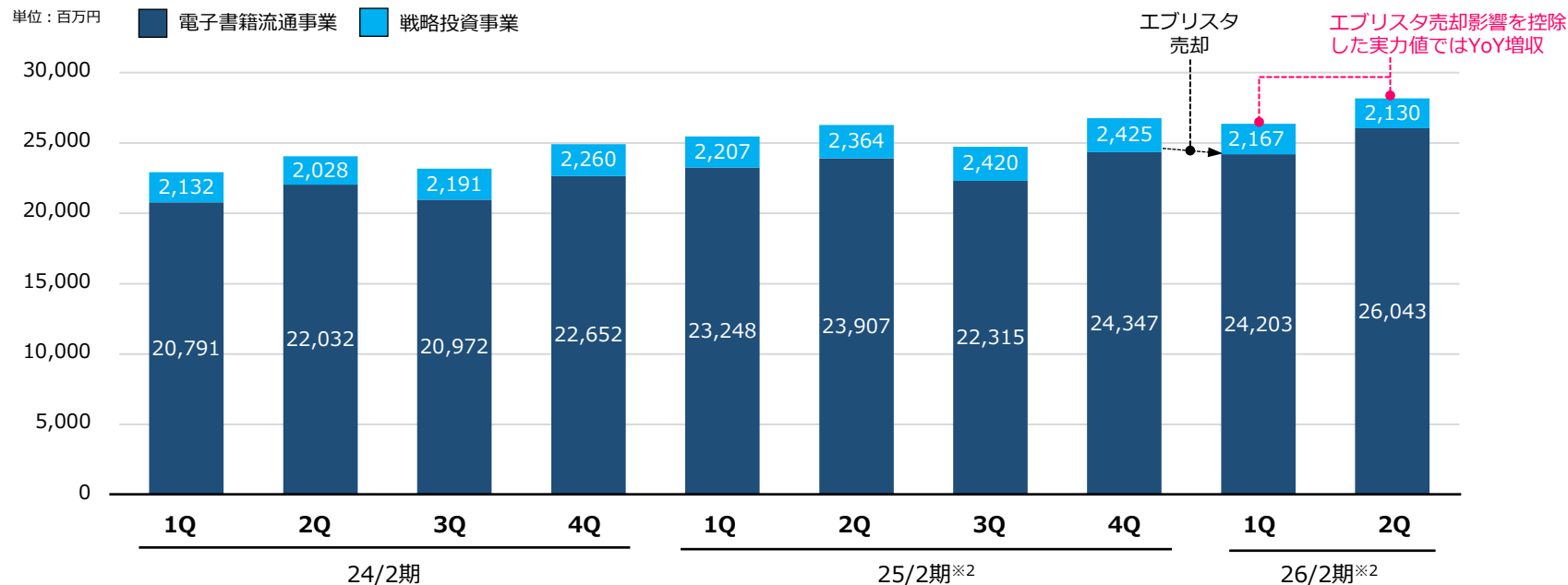
- ✓ 売上高はYoY、QoQともに増収。1Qに引き続き電子書籍流通事業が順調に推移
- ✓ 営業利益についてもYoY、QoQともに増益。YoYでは1Qに引き続き日本文芸社の赤字幅縮小が進捗、連結営業利益率の向上に貢献



売上高推移（セグメント別） ※1

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 電子書籍流通事業はYoY、QoQともに増収。既存商流の堅調な推移に加え、7月から新規商流（めちゃコミック）も貢献
- ✓ 戦略投資事業は、主にエブリスタ売却の影響によりYoY、QoQとも減収。エブリスタ売却影響を控除した実力値ではYoYで増収



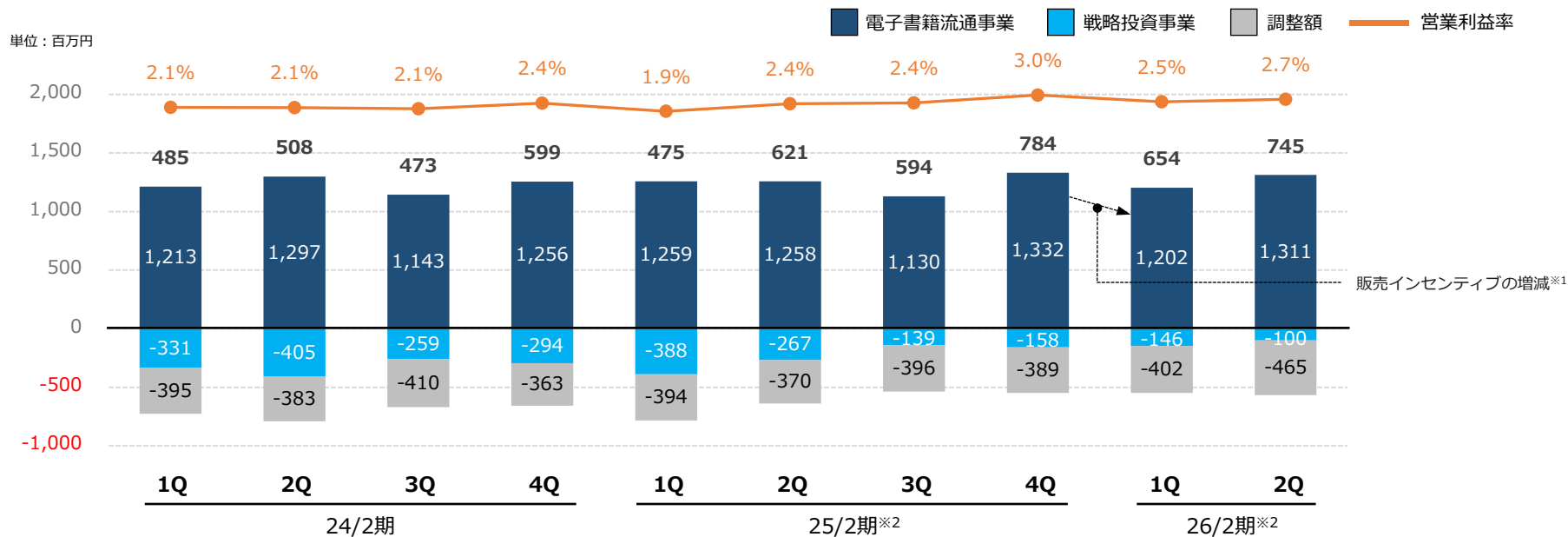
※1 売上高は、セグメント間取引等の調整額を含まない金額。各四半期の調整額については、P.25に記載

※2 26/2期より戦略投資事業の売上高に「がんぼう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

営業利益推移（セグメント別）

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 電子書籍流通事業は増収に伴いYoY、QoQとも増益
- ✓ 戦略投資事業についても主に日本文芸社の損益改善が貢献し、YoY、QoQとも営業赤字が縮小。利益創出フェーズに向けて順調に推移
- ✓ 調整額（本部費用）はYoY、QoQとも研究開発費の計上により増加



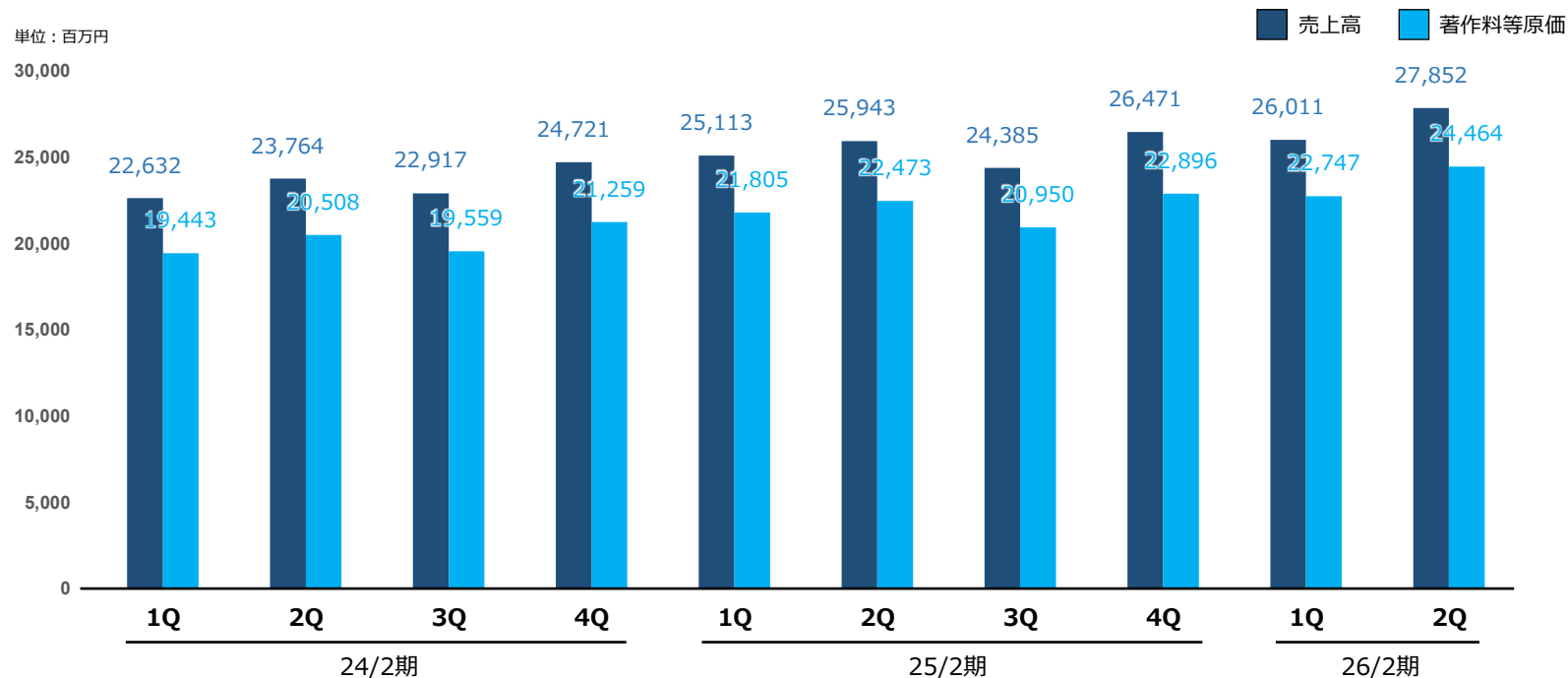
※1 販売インセンティブの増減：特定の電子書店との間で未確定となっていた売上確定精算完了によるもの

※2 26/2期より調整額から戦略投資事業に「がんぼう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」をセグメント変更。グラフにおいては25/2期実績も修正

著作権料等原価推移※

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

✓ 売上高の増減に伴い著作権料等原価も変動

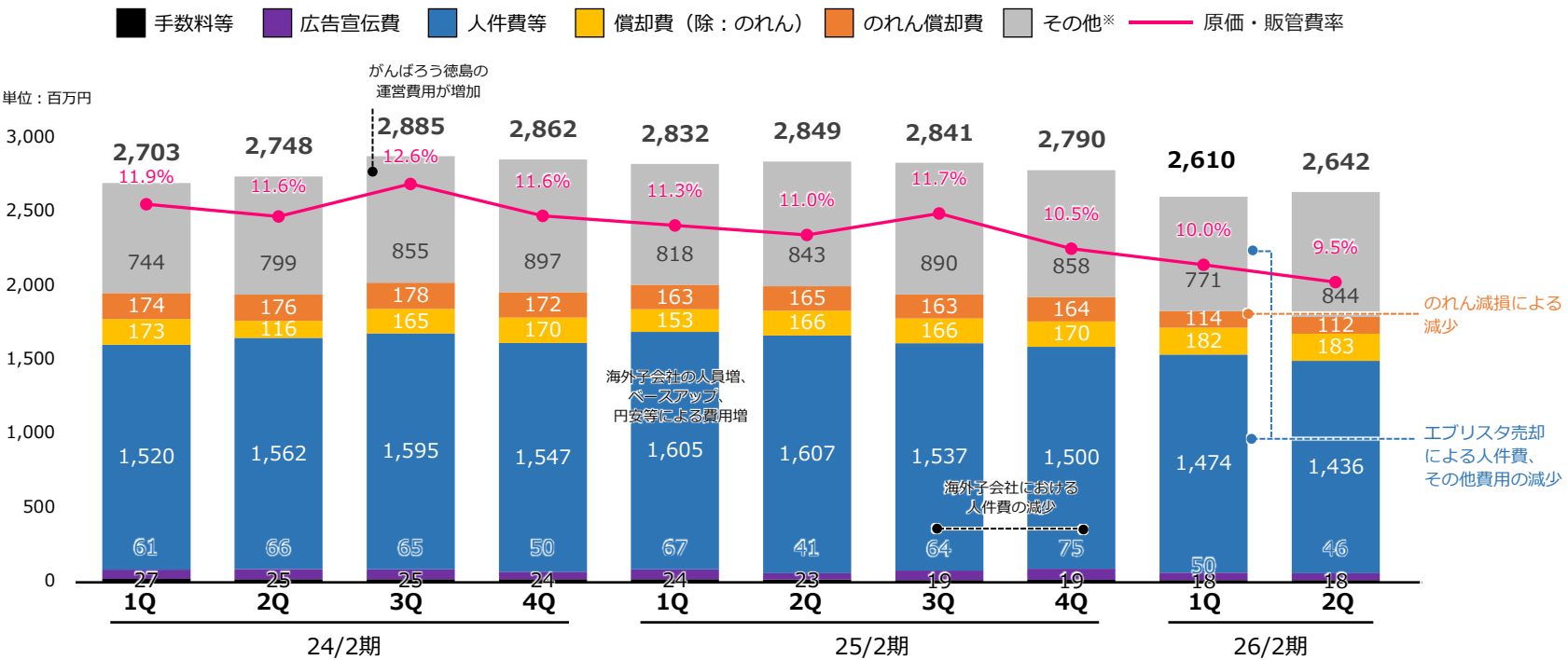


※ 電子書籍流通事業で発生する著作権料等原価と日本文芸社で計上される印刷製本原価の合計値推移を記載

売上原価・販管費推移（著作権等以外）

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 2025年2月のエブリスタ売却ならびに子会社のれん減損計上により、26/2期はコストが減少
- ✓ 26/2期2Qは、その他に研究開発費を計上



※ その他には、業務委託費や地代家賃、租税公課等が含まれる

2. 業績推移

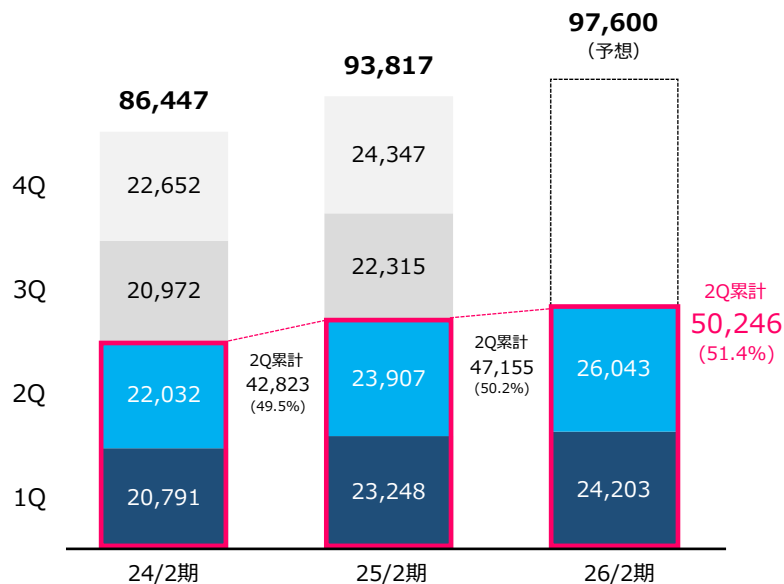
電子書籍流通事業

売上高・営業利益推移

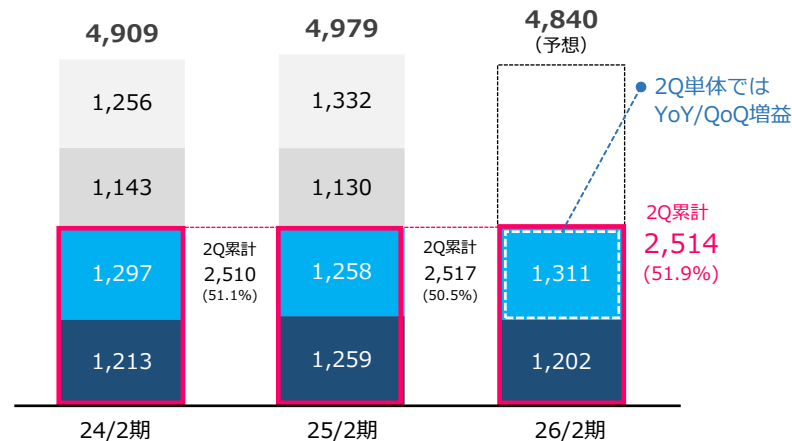
株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 売上高は、YoY、QoQとも増収。大手書店を中心とした既存商流の好調ならびに7月より取引開始となった新規商流が貢献
- ✓ 営業利益についても、YoY、QoQとも増益。ただし1Qにおける販売インセンティブ増減による一過性要因により、2Q累計では微減益

売上高

単位：百万円
※カッコ内は進捗率

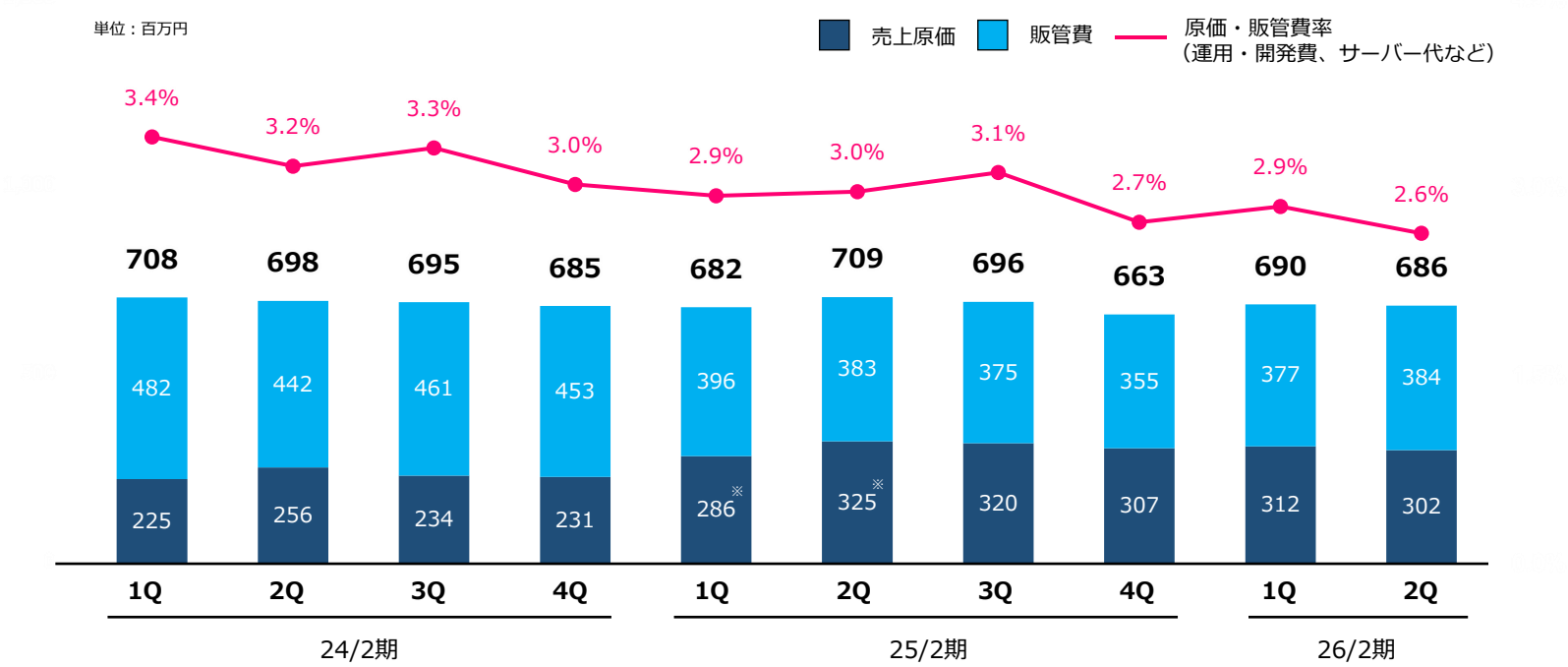
営業利益

単位：百万円
※カッコ内は進捗率

コスト構造（著作権料を除く原価・販管費）

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

✓ 著作権料を除く原価・販管費率は、業務効率化の進捗により、原価・販管費の絶対額・率ともに改善傾向

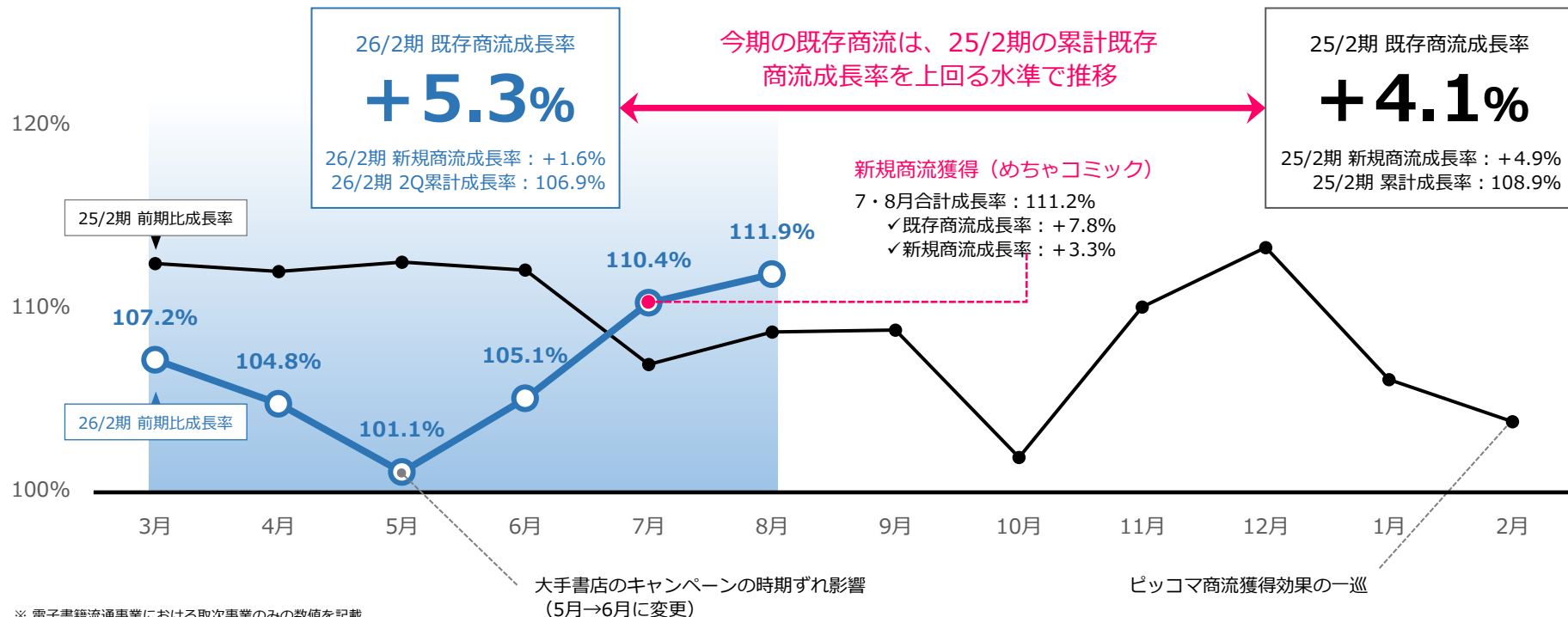


※ 売上原価の増加要因
25/2期1Q：配置転換による影響
25/2期2Q：メンテナンス等の運用が中心となったことから、エンジニア人件費の資産振替額が減少

売上高前年比成長率※

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 26/2期2Qは、既存・新規商流とも堅調。既存商流は25/2期累計既存商流成長率を上回る水準で推移
- ✓ 2025年7月より新規商流（めっちゃコミック）の取引が開始。7・8月の合計新規商流成長率は+3.3%と順調に推移



※ 電子書籍流通事業における取次事業のみの数値を記載

2. 業績推移

戦略投資事業

戦略投資事業の各サービス概要

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 26/2期より、戦略投資事業内の領域を変更。中長期における注力領域を事業として構成
- ✓ 主軸である電子書籍流通事業を基盤に、メディアドゥグループの新たな成長ドライバーとしての早期確立を目指す

戦略投資事業は、26/2期より以下3事業で構成

海外展開 国際事業



米サンディエゴに位置し、
海外取次事業などを担う
グループの国際事業拠点



書誌情報管理、情報配信、
電子書籍配信等の出版社向
けERPを提供する米国企業



多くの米出版社が活用、
Webで書籍見本を提供する
マーケティングツール



欧米出版社にて広く活用、
出版社のHP・ECサイト構
築を支援するSaaS企業

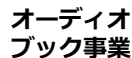


NTTドコモ等とともに取り
組む北米向け電子コミック
配信サービス

IP創出・育成／企画・出版 IP・ソリューション事業



実用書やコミック、小説、雑誌
など幅広いジャンルを手掛ける
70年以上の歴史をもつ出版社



Amazon Audibleにて、提
供作品を配信



書籍の要約コンテンツを提
供するサービス「flier」を
運営



メディアドゥが自社開発し
たNFTマーケットプレイス



大手出版社の漫画作品のカ
ラーリングや作画支援

Sustainability Creation SC事業



男子プロバスケットボール
クラブ「徳島ガンパロウ
ズ」の運営



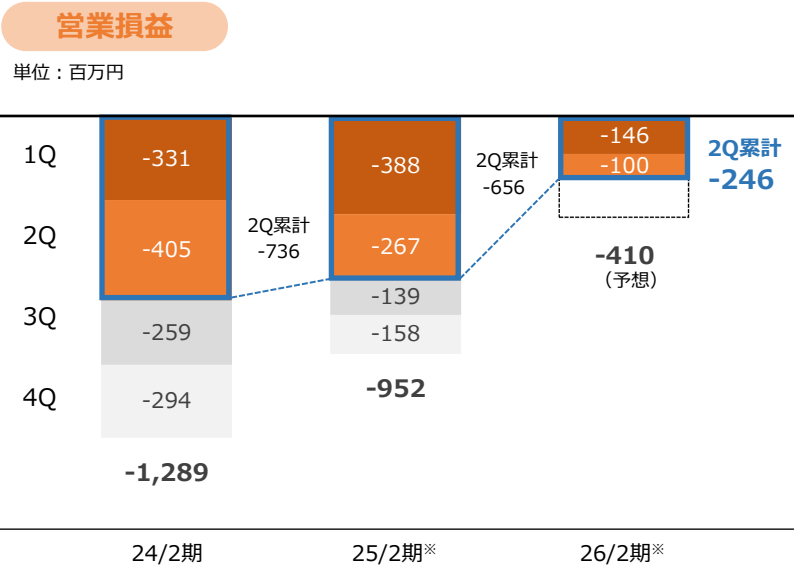
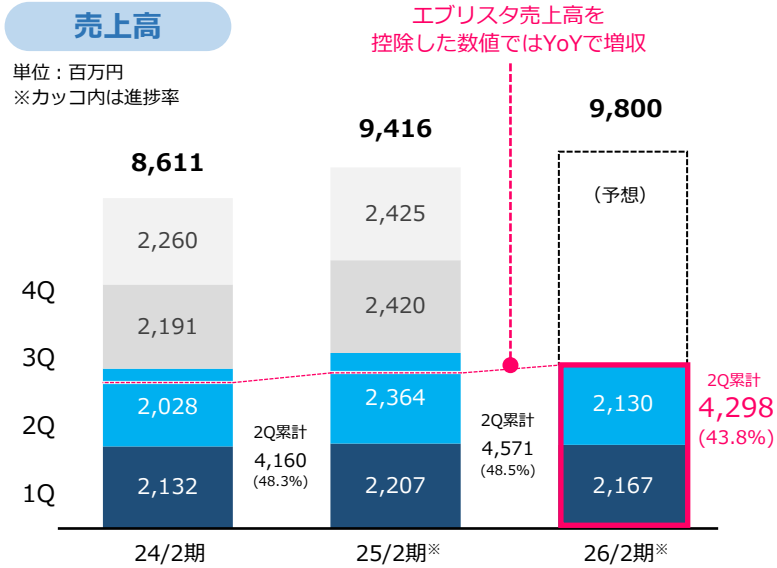
起業家支援「徳島イノベ
ーションベース（TIB）」の
運営



TIBをモデルケースに「xIB
JAPAN」で15府県へ展開

売上高・営業利益推移

- ✓ 売上高の季節性として、①2025年9月（3Q）からシーズンインとなるがんばろう徳島、②SaaS型ビジネスが順調に推移するフライヤーと国際事業により下期偏重傾向。通期予想値に対して計画通り推移
- ✓ 売上高は、エブリスタ売却影響を控除した実力値ではYoYで増収
- ✓ 営業利益は、1Qに引き続き日本文芸社の損益改善が進みYoYで赤字幅が縮小

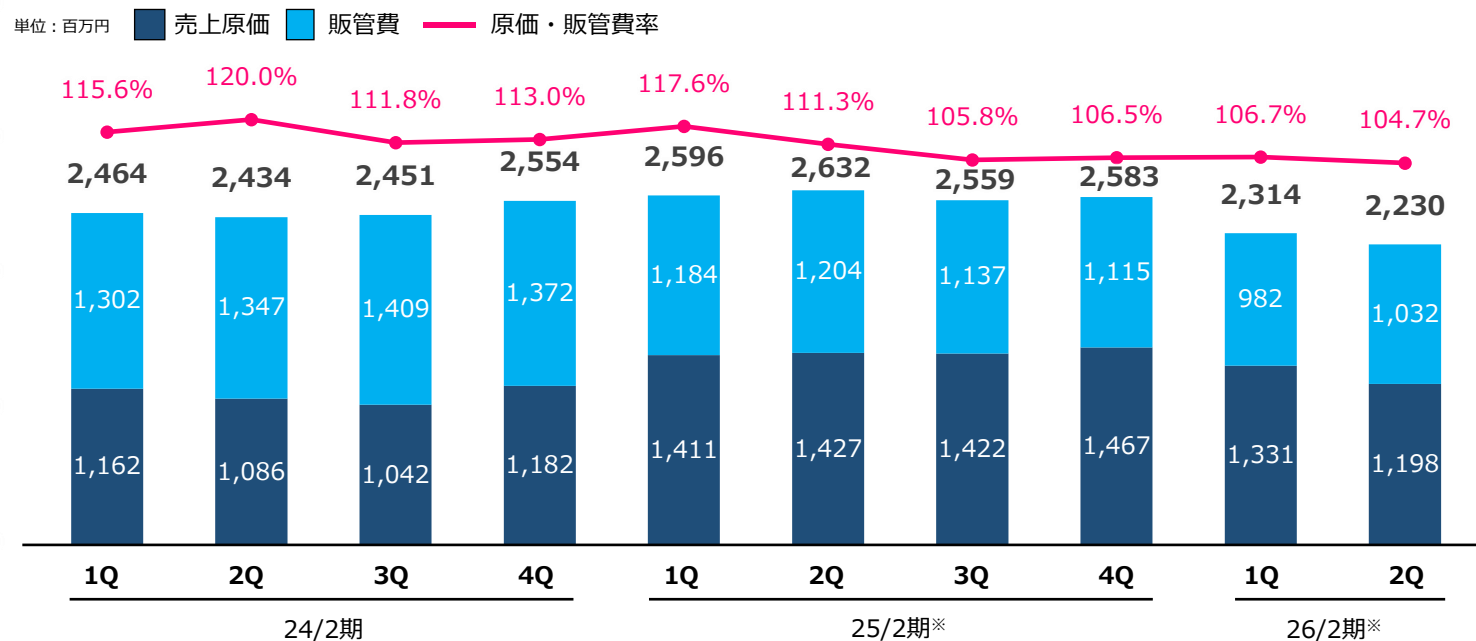


※ 26/2期より戦略投資事業に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

コスト構造

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

✓ エブリスタ売却に伴う売上減により、26/2期より原価・販管費の総額も減少

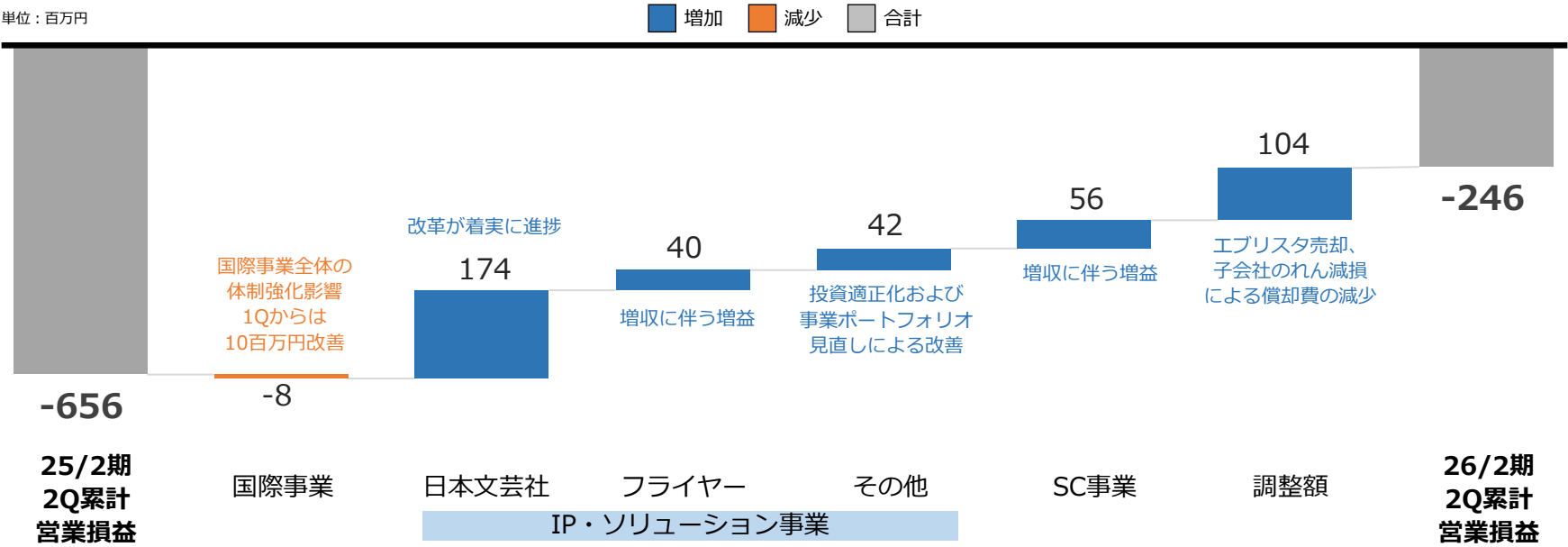


※ 26/2期より戦略投資事業に「がんばろう徳島（プロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」の運営会社）」を含めた。グラフにおいては25/2期実績も修正

営業利益 前年同期比較

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

- ✓ 戦略投資事業全体としてはYoYで410百万円の改善を実現。主に日本文芸社の改革が着実に進捗したことによる損益改善
- ✓ その他（IP・ソリューション事業）では、投資適正化および事業ポートフォリオ見直しの実施により損益が改善
- ✓ 調整額は、25/2期末に実施した子会社売却及びのれん減損による償却費の減少による増益効果
- ✓ 国際事業は1Qにおける海外展開強化に向けた体制強化の影響で損益が悪化したものの、1Qから2Qにかけて10百万円改善



P/L実績

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

	25/2期								26/2期			
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q	
売上高 ※1	25,113		25,943		24,385		26,471		26,011		27,852	
電子書籍流通事業	23,248	92.6%	23,907	92.2%	22,315	91.5%	24,347	92.0%	24,203	93.0%	26,043	93.5%
戦略投資事業	2,207	8.8%	2,364	9.1%	2,420	9.9%	2,425	9.2%	2,167	8.3%	2,130	7.6%
売上原価、販売管理費	24,638	98.1%	25,322	97.6%	23,791	97.6%	25,687	97.0%	25,357	97.5%	27,106	97.3%
著作料・その他原価 ※2	21,805	86.8%	22,473	86.6%	20,950	85.9%	22,896	86.5%	22,747	87.5%	24,464	87.8%
手数料等	24	0.1%	23	0.1%	19	0.1%	19	0.1%	18	0.1%	18	0.1%
広告宣伝費	67	0.3%	41	0.2%	64	0.3%	75	0.3%	50	0.2%	46	0.2%
人件費等	1,605	6.4%	1,607	6.2%	1,537	6.3%	1,500	5.7%	1,474	5.7%	1,436	5.2%
償却費等(除：のれん)	153	0.6%	166	0.6%	166	0.7%	170	0.6%	182	0.7%	183	0.7%
のれん償却費	163	0.7%	165	0.6%	163	0.7%	164	0.6%	113	0.4%	112	0.4%
その他	818	3.3%	843	3.2%	890	3.6%	858	3.2%	771	3.0%	844	3.0%
EBITDA	793	3.2%	953	3.7%	924	3.8%	1,119	4.2%	950	3.7%	1,042	3.7%
営業利益	475	1.9%	621	2.4%	594	2.4%	784	3.0%	654	2.5%	745	2.7%
経常利益	490	2.0%	543	2.1%	607	2.5%	718	2.7%	669	2.6%	769	2.8%
税金等調整前当期純利益	464	1.8%	520	2.0%	611	2.5%	286	1.1%	1,181	4.5%	769	2.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	244	1.0%	276	1.1%	391	1.6%	451	1.7%	818	3.1%	508	1.8%

※1 26/2期よりSC事業としてプロバスケットボールチーム「徳島ガンパロウズ」を運営するがんぱろう徳島の業績を戦略投資事業に含める形に変更。25/2期の実績についても同様のセグメント区分で算出

電子書籍流通事業、戦略投資事業に属さない調整額は2025/2期1Q -342百万円、2Q -328百万円、3Q -349百万円、4Q -300百万円、2026年2月期1Q -358百万円、 2Q -321百万円

※2 電子書籍流通事業にかかる金額は2025/2期1Q 21,307百万円、2Q 21,939百万円、3Q 20,488百万円、4Q 22,351百万円、2026年2月期1Q 22,310百万円、 2Q 24,045百万円

B/S実績

株式会社メディアドゥ
2026年2月期 第2四半期決算説明資料

単位：百万円

	25/2期末	26/2期2Q末	増減	主たる変動要因
流動資産	39,960	42,982	3,022	
現金及び預金	13,591	14,405	814	
受取手形、売掛金及び契約資産	24,033	27,054	3,021	
固定資産	13,199	12,684	-515	
有形固定資産	582	548	-34	
ソフトウェア	633	606	-27	
のれん	4,198	3,918	-280	
投資有価証券	5,669	5,537	-132	
資産合計	53,160	55,666	2,506	
流動負債	32,220	34,736	2,516	
支払手形及び買掛金	28,273	30,493	2,220	
短期借入金および1年内返済予定の長期借入金	1,507	1,417	-90	
固定負債合計	3,231	2,454	-777	
長期借入金	2,358	1,589	-769	
負債合計	35,451	37,190	1,739	
株主資本合計	16,488	17,357	869	
資本金	5,990	6,019	29	
資本剰余金	5,901	5,960	59	
利益剰余金	4,645	5,425	780	
自己株式	-48	-48	0	
その他包括利益累計額合計	1,111	955	-156	為替換算調整勘定の減少
新株予約権	—	19	19	
非支配株主持分	108	144	36	
純資産の合計	17,708	18,476	768	
負債・純資産合計	53,160	55,666	2,506	

03

成長戦略

Growth Strategy

中期経営計画における成長戦略の軸は3つ

①日本国内の流通

- ✓ メディアドウの成長基盤として流通シェアの拡大を目指す

②海外展開

- ✓ 日本のコンテンツを世界に届ける

MORE CONTENT
for MORE PEOPLE!

③SC事業

- ✓ 地域のアセットを結びつけ、地域・日本全体をアップトレンドへ転換する

Sustainability Creation



取り扱う電子書籍コンテンツが増え続ける一方で、 システム連携を通じて納品スピードの向上を実現

①流通力ロリーの削減



DB4



各電子書店とのシステム連携の強化により、
電子書店の効率化に貢献



各電子
書店

全電子書店向け

- ✓ コンテンツ情報取得APIの収録タイトルIDの追加API改修対応（2025/3）
- ✓ 連載許諾システムAPI新規開発（2025/6）
- ✓ FODビューア切り替え納品向けプラグイン新規開発（2025/8）

pixiv様向け

- ✓ pixivコミック連載完パケ納品プラグイン新規開発（2025/3）

ピッコマ様向け

- ✓ ピッコマ専用APIコンテンツ情報取得の巻タイトルID既存API改修対応（2025/4）
- ✓ ピッコマ独自項目「話タイトル名」出力使用変更対応（2025/8）

アムタス様向け

- ✓ アムタスBSF納品向けプラグイン新規開発（2025/6）
- ✓ アムタスEPUB納品向けプラグイン新規開発（2025/7）

②流通スピードの向上

日々業務の自動化やノウハウの最適化により、
納品スピードが向上



出版社



Media Do



電子書店

1日あたりの登録数

前上期

2,477件

+23.8%

今上期

3,067件

3. 成長戦略

海外戦略

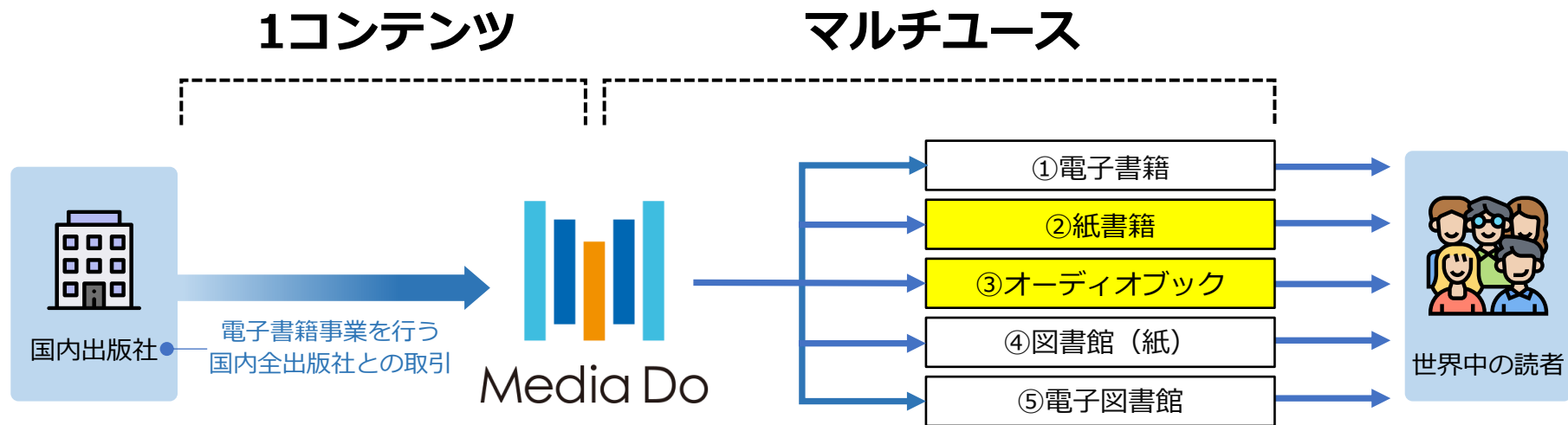
メディアドウの最大の強みは コンテンツが集まり続けるポジション



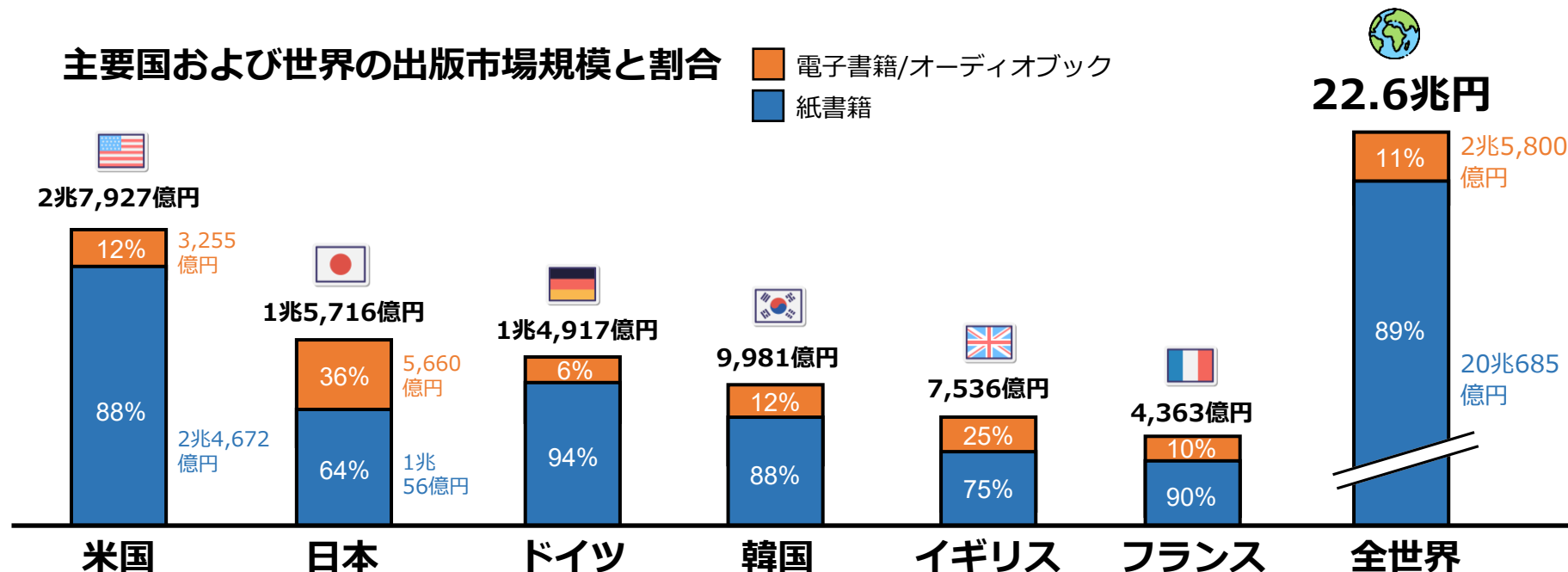
MORE CONTENT **for** MORE PEOPLE!

- ✓ コンテンツが集まり続ける唯一無二のポジション
- ✓ 集まり続けるコンテンツを、国内だけではなく世界中に届ける

メディアドゥは、ほぼ全ての国内出版社と コンテンツのマルチユースを図り、世界中に届ける



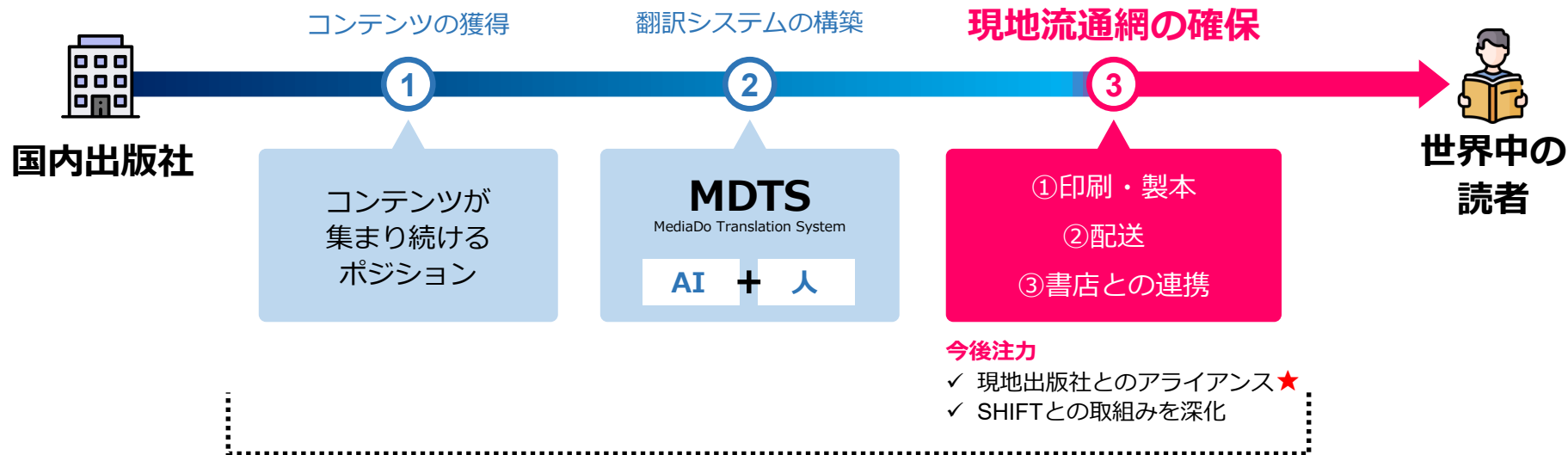
各国の出版市場では、依然として紙が圧倒的に主流



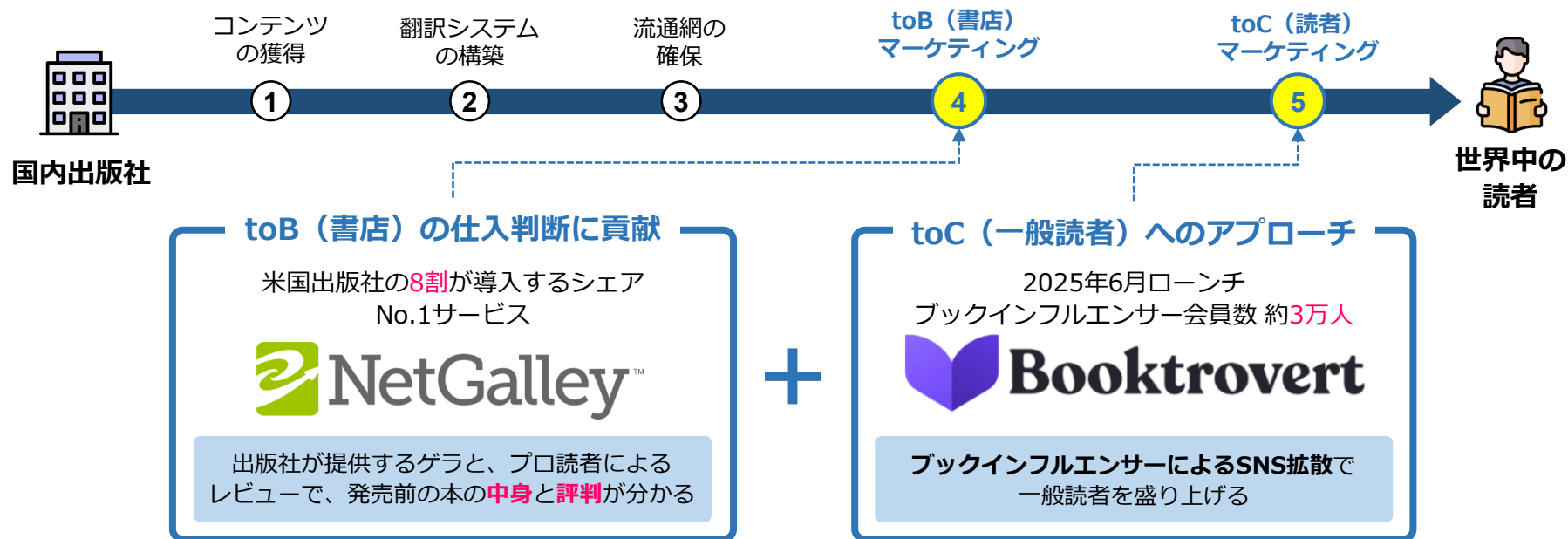
※ 出所：

- ・ 日本出版市場：出版科学研究所「出版指標 年報2025」、デジタルにはオーディオブックを含まない
- ・ 米国出版市場：Association of American Publishers (AAP) 「StatShot Annual Report CY 2024」よりオーディオブックおよびその他（教材・フィジカルオーディオ他）を控除（¥150/USD）
- ・ ドイツ、韓国、イギリス、フランス出版市場：WIPO 「The Global Publishing Industry in 2022」より。デジタルにはオーディオブックを含む（¥150/USD）
- ・ 世界の出版市場：Grand View Research, 「Books Market Size, Share & Growth | Industry Report, 2030」、Mordor Intelligence 「Ebook Market Share, Size, Trends & Industry Analysis」 （¥150/USD）

海外では紙書籍が主流であり、 日本コンテンツの海外展開においては流通網の確保が重要



海外での本の流通を最大化させるための メディアドウのグローバル・ソリューション



売上を最大化させるために重要なマーケティング・PRツールをメディアドウグループで提供

NetGalleyは、出版社・書店向けの 米国シェアNo.1のマーケティングプラットフォーム



発売前の本の **中身** と **評判** が分かる
米国シェアNo.1マーケティングプラットフォーム

- ✓ 米国出版市場の約8割を占める5大出版社にも導入
- ✓ Edelweiss(業界2位)に対して2.5倍の会員数、圧倒的No.1
- ✓ 米国の図書館員や書店員の3~4人に1人が利用



米国を起点に世界7か国で展開

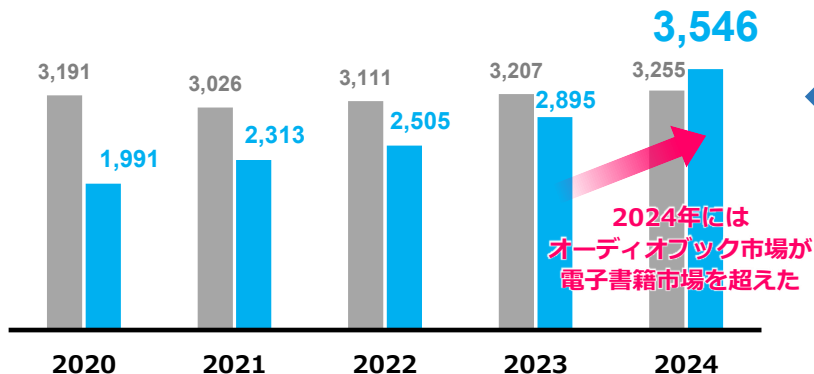
米国、カナダ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、日本

北米市場で急成長中のオーディオブックも メディアドウが流通

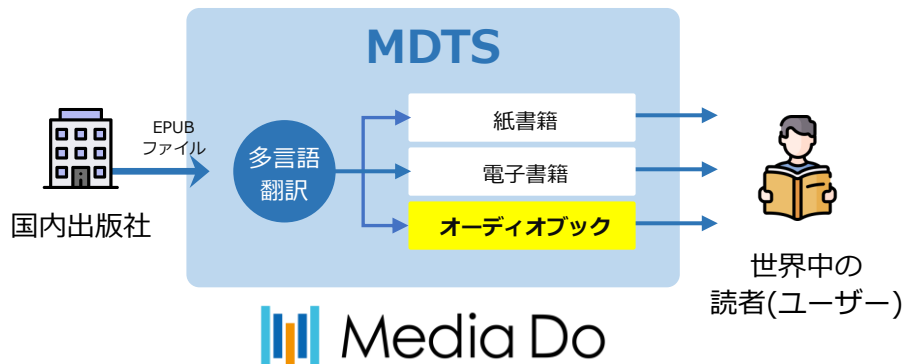
2024年にはオーディオブック市場が電子書籍市場を超えた

- ✓ 電子書籍販売価格そのものが上昇基調
- ✓ オーディオブックコンテンツ数の増加とオーディオブックサービスの進化

■ 電子書籍 ■ オーディオブック (単位: 億円)



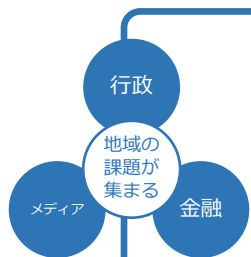
オーディオブックについても
MDTSによるマルチユース化で
スピーディーな海外展開が可能



3. 成長戦略

SC事業

現在のSC事業は大きく分けて2つ 地域との信頼をもとに、事業を推進



行政
地域の
課題が
集まる
メディア 金融

起業家支援



TOKUSHIMA
INNOVATION
BASE
一般社団法人
徳島イノベーションベース

経営者と、地域の課題が集まる
行政・メディア・金融を巻き込み関係を構築

▼

現在17府県で発足
✕IB JAPAN

スポーツ事業

参入2年目で黒字化を達成



今季開幕より6戦全勝(得失点差2位)、
来季よりB.LEAGUE ONE参入予定

2020年に徳島で始まったイノベーションベースの 取組みは、全国50%超まで普及へ



全国の経営者・起業家が集う経営カンファレンス “LEC熊本”が11月に1,000名超の規模で開催

地方経済未来会議

LEC

地方経済未来会議（LEC）は、2021年に徳島で開催以降、毎年規模を拡大しながら全国で開催

2021年開催



参加者：約250名

2022年開催



参加者：約350名

2023年開催



参加者：約500名

2024年開催



参加者：約1,000名

2025年開催



参加予定：1,000名超

2026年開催予定



Local Entrepreneur Creation

LEC熊本

11月13・14日

1,000名超

基調講演

“どこにでもある町”
を変えた経営戦略

～小さな造り酒屋の実践から
学ぶ地方創生～

枡田 隆一郎 氏
株式会社 枡田酒造店
代表取締役



分科会

上場企業、大企業の経営者が約30名が登壇
会社規模に合わせた18のコンテンツを展開

① 競争優位性を確立する ポジショニング戦略	② 地方企業が優秀な 人材を確保するには？	③ 経営チームの作り方と 組織づくり	④ 事業の スケールアップ戦略
⑤ 資金調達と 銀行融資の活用	⑥ M&A戦略	⑦ スタートアップ の価格戦略	⑧ スタートアップの マーケティング戦略
⑨ 顧客の声を活かした プロダクト開発	⑩ ミドルマネージャーの 採用と育成	⑪ 事業のピボット戦略	⑫ 働き方改革と企業文化
⑬ MVVの作り方	⑭ 社長の時間管理術	⑮ 経営者の リーダーシップ	⑯ 経営者の ワークバランス
	⑰ 新規事業開発の事例 (成功と失敗)	⑱ 地域ブランドの構築	

SC事業 1DAYカンファレンス “第ゼロ回”を開催 今後、規模を拡大しながら毎年開催

9月4日開催

SC事業 1DAYカンファレンス “第ゼロ回”

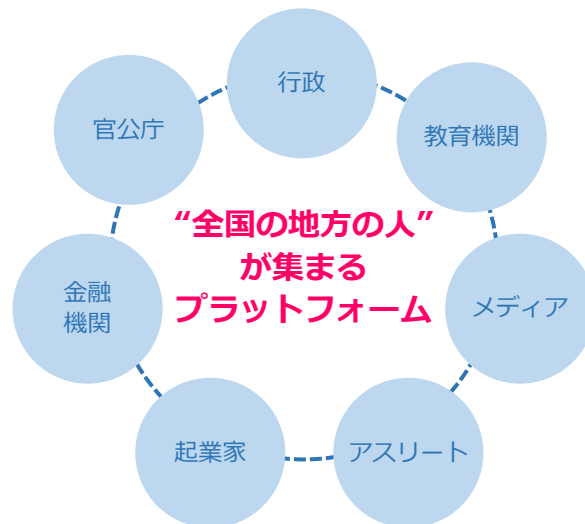


日本の地域活性に課題意識を持つ官公庁、行政、大学、金融機関からも関心が寄せられ、**社内外あわせて総勢134名が参加**

ご参加いただいた社外関係者の皆様

- 【官公庁】 衆議院予算委員会／経済産業省／復興庁／農林水産省／文部科学省／国土交通省
- 【行政】 徳島県
- 【大学】 徳島大学
- 【金融機関】 阿波銀行／徳島大正銀行／みずほ銀行／みずほ証券
- 【メディア】 四国放送／徳島新聞社／日本経済新聞社／北日本新聞社

「第1回」となる来年は**1,500名**規模での開催を予定
“全国の地方の人”が集まるプラットフォームを構築する



B.LEAGUEは**経営力**をつけるべく、 「B.革新」によるリーグの構造改革を実施

2026-27シーズンから

B.革新

チーム戦績による昇降格制度から、
エクспанション型へ構造改革

「経営力」

が問われる

- ✓ 入場者数や売上を基準とした昇格・降格
- ✓ 地域を巻き込んだ経営



北米男子プロバスケットボールリーグ

NBA

B1

B2

B3

世界基準のリーグを目指す

B.PREMIER

最高のアリーナ × 最高の試合

B.ONE

シビックプライドをかけた全国の戦い

B.NEXT

プロ水準

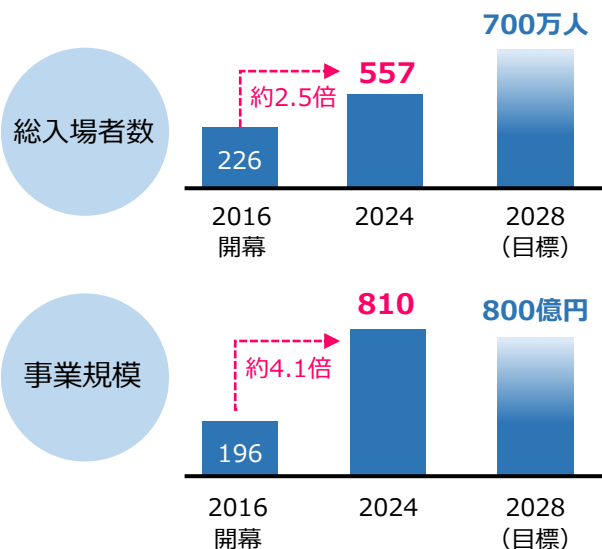


GAMBAROUS
TOKUSHIMA

徳島ガンバロウズは、
来シーズンから
B.ONEに参入予定

「B.革新」を通じて地域との連携を強化し、事業規模も拡大させる

経営力の向上を見据えたB.LEAGUEの中長期目標



※ 出所：2024-25シーズン（2024年度）クラブ決算概要、Bリーグ中期経営計画
2016年の実績にはB3クラブの実績を含まず、2024年の実績にはB3クラブの実績を含む

経営力をつける取組みを加速

① 2025年6月、当社CEO藤田の働きかけにより、B3チーム「さいたまブロンコス」のオーナーがディップ株式会社となり、経営体制が変更された

② 2025年9月、当社CEO藤田がB.LEAGUE理事に就任

- ✓ クラブオーナーと企業経営の領域で、専門的な知見を持つ有識者としての位置づけ
- ✓ B3リーグからB.LEAGUE理事が選任されるのは初めて
- ✓ 参入後2シーズンでの理事就任は極めて稀

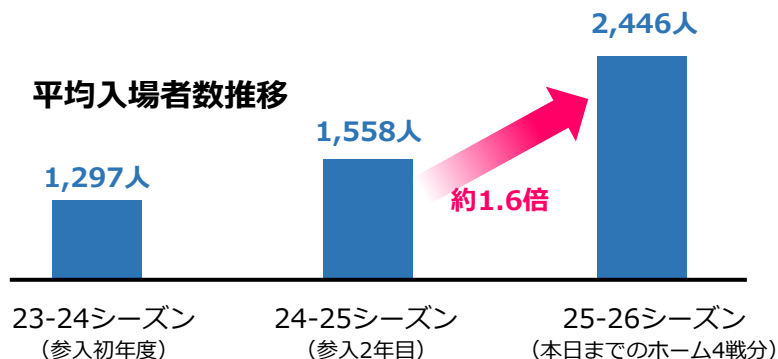


写真：左から小川嶺氏（タイミー代表取締役）、島田慎二チェアマン、当社CEO藤田

徳島ガンバロウズは、9/27-28の開幕戦以降 6戦全勝と地域を大きく盛り上げている



9/28の開幕戦第2節では
3,165人(過去最多)
の来場客数を達成

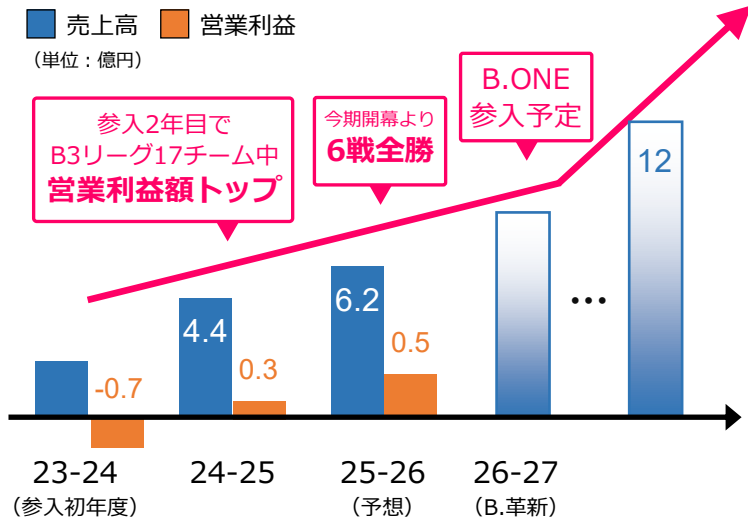


順位	クラブ名	勝	負	勝率	総得点	総失点	得失点差
1	東京八王子ビートレインズ	6	0	1.000	493	438	55
2	徳島ガンバロウズ	6	0	1.000	491	448	43
3	トライフーズ岡山	5	1	0.833	487	448	39
4	香川ファイブアローズ	4	2	0.667	493	430	63
5	さいたまブロンコス	4	2	0.667	516	487	29
6	立川ダイス	4	2	0.667	527	501	26
7	湘南ユナイテッドBC	3	3	0.500	456	446	10
8	岐阜スウープス	3	3	0.500	484	487	-3
9	金沢武士団	2	4	0.333	500	505	-5
10	新潟アルビレックスBB	2	4	0.333	456	473	-17
11	ヴィアティン三重	1	3	0.250	292	324	-32
12	東京ユナイテッドバスケットボールクラブ	1	53	0.250	301	348	-47
13	山口パッツファイブ	1	5	0.250	430	481	-51
14	アースフレンズ東京Z	0	4	0.000	281	319	-38
15	しながわシティ バスケットボールクラブ	0	6	0.000	473	545	-72

開幕から
6戦全勝

ガンバローズは来季よりB.LEAGUE ONEに参入予定 今季はB3優勝を目指しながら事業成長を図る

アリーナ構想の進捗を追い風に、
さらなる成長を目指す



※ 出所：2024-25シーズン（2024年度）クラブ決算概要

ホームアリーナ構想（5,000～10,000人規模）



2025年6月、まちづくり構想の早期具体化を目指し、
後藤田知事がアリーナの予定地を表明

- ✓ 徳島県の5つの経済団体がアリーナの早期整備を知事に要望
- ✓ アリーナの実現により、入場者数や入場料収入の拡大に期待

2025年6月18日
徳島新聞



許諾：徳島新聞

将来見通しに関する注意事項と会計監査について

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただくようお願いいたします。

<https://mediado.jp/ir>

